

2つの実数 x, y が $x^2 + y^2 = 1$ を満たすとき、 $z = 2x + y$ のとりうる値の範囲は イ である。

(23 立教大 コミュニティ福祉・経営・経済など 1(2))

【答】

イ
$-\sqrt{5} \leq z \leq \sqrt{5}$

【解答】

実数 x, y は $x^2 + y^2 = 1$ を満たすから

$$\begin{cases} x = \cos \theta \\ y = \sin \theta \end{cases} \quad (0 \leq \theta < 2\pi)$$

と表すことができる。このとき

$$\begin{aligned} z &= 2x + y \\ &= 2\cos \theta + \sin \theta \\ &= \sqrt{5} \left(\sin \theta \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} + \cos \theta \cdot \frac{2}{\sqrt{5}} \right) \\ &= \sqrt{5} \sin(\theta + \alpha) \quad \left(\alpha \text{ は } \cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{5}}, \sin \alpha = \frac{2}{\sqrt{5}} \text{ を満たす定角} \right) \end{aligned}$$

$0 \leq \theta < 2\pi$ より $-1 \leq \sin(\theta + \alpha) \leq 1$ であるから、 z のとりうる値の範囲は

$$-\sqrt{5} \leq z \leq \sqrt{5}$$

である。

- 積の和はベクトルの内積とみることもできる。

$$\begin{aligned} z &= 2x + y = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \\ &= \sqrt{2^2 + 1^2} \sqrt{x^2 + y^2} \cos \theta \\ &= \sqrt{5} \cos \theta \end{aligned}$$

ここで、 θ はベクトル $\begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ のなす角であるから

$$-\sqrt{5} \leq z \leq \sqrt{5}$$

である。

- z のとりうる値の範囲は、 $x^2 + y^2 = 1$ …… ㉞ かつ $z = 2x + y$ …… ㉟ を満たす実数 x, y が存在するような z の値の集合である。

x, y が ㉞ かつ ㉟ を満たすということは、 xy 平面上の円 $x^2 + y^2 = 1$ と直線 $2x + y - z = 0$ が共有点をもつということであり、円と直線が共有点をもつ条件は

$$(\text{中心と直線の距離}) \leq (\text{半径})$$

であるから

$$\frac{|0 + 0 - z|}{\sqrt{2^2 + 1^2}} \leq 1 \quad \therefore |z| \leq \sqrt{5} \quad \therefore -\sqrt{5} \leq z \leq \sqrt{5}$$

である。

